

interfm

The266th Programming Deliberation Committee

第 266 回番組審議会 議事録

開催日 2023 年 3 月 15 日（水）

出席者：湯川れい子委員長、亀淵昭信委員、角田陽一郎委員、安藤美冬委員、長崎亘宏委員

1、

議題（審議番組）：TOKYO MUSIC SHOW

放送日時：2022年12月15日（木）19:00 - 20:00

DJs：リトルブラックドレス

会社からの説明

リトルブラックドレスがお届けするオールジェネレーションで楽しんで音楽を知る 1 時間。ルー
ツ音楽である歌謡曲やロックナンバーの選曲を中心に送っています。

委員からの意見・感想

審議委員A

オールジェネレーションで楽しむという真髄は何なのか？番組の内容的に世代を超えるというコ
ンセプトには無理があると思う。選曲も interfm らしくなく、メジャー曲のオンパレードは恥じ
らいを感じる内容だった。シンガーソングライターとして、私だったらこう歌うという視点をも
っと入れた方が良く、選曲にもまとまりがないので、ポリシーなどを明確にするべきと感じた。

審議委員B

DJ の親しみやすさ、声の聞き心地の良さはあったが、1 時間聞いてみてもトークが何も印象に残
るものがなかった。最初から内輪な雰囲気、固定リスナーには良いかもしれないが、知らない
人には入り込みづらいと思った。そして、選曲も弱く、昭和歌謡が好きであれば、もっとリスナ
ーが興味を持てるような話をして欲しかった。キャラクターの魅力はあるが、もう一回聴きたい
とは思えなかった。

審議委員C

番組タイトルである「TOKYO MUSIC SHOW」を名乗り、interfm に相応しい番組名であるにも関わ
らず、番組の内容、選曲に疑問を感じた。この内容だったら、「リトルブラックドレスの部屋」
のように番組名を小さく見せた方が良く思った。また、番組のコンセプト、演出力、出演者の能力、
全てを鑑みても、形だけで作っているように感じた。

審議委員D

DJ は、お喋りは上手くなく、敬語の使い方も下手だった。但し、曲を聞いた後、バラードにした
ら良いかもって話はミュージシャンらしい良い視点だったと思う。番組の質に関して、とても残
念であり、番組ディレクターの責任は重大と感じた。

審議委員E

声は良いと思うが、喋りに関してはド素人で、アクセントもおかしいと感じた。interfm として
番組が成立しているのか疑問を感じた。選曲も番組の意図が伝わってこなかった。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向
け改善を図る。

以上